

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	伊勢理容美容専門学校
設置者名	学校法人 伊勢整容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
収支計算書又は損益計算書	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
財産目録	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
事業報告書	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
監事による監査報告（書）	学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生		衛生専門	理容	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
	昼間		講義	演習	実習	実験
2年		2010 単位時間/単位	660 単位時間	単位時間 /単位	1350 単位時間	単位時間 /単位
			2010 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人		31人	0人	4人	41人	45人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《シラバスの作成過程》</p> <p>各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。</p> <p>《公表時期》</p> <p>4月に公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>《学習の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段

<p>の学習態度等も考慮した上で100点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知表への評価は5段階評価を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 1 (0～39点)、2 (40～59点)、3 (60～79点)、 4 (80～90点)、5 (91～100点) ・学科については出席日数が3分の2以上、実習については出席日数が5分の4以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が60点以上であるものを合格とする。 <p>《履修認定の基準》 すべての科目が60点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。 欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。 点数が60点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>《卒業認定の基準》 すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき理事会で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>60点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容店に就職			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の理容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きに行くか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡を取り、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。 ・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 理容師免許 色彩技能パーソナル検定 (モジュール1) A・T・F 色彩検定 3級 JNA ジェルネイル初級検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	2 人	9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「理容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門	美容	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	660 単位時間	単位時間 /単位	1350 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		39 人	0 人	5 人	41 人	46 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討 会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4月に公表している。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>《学習の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で100点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は5段階評価を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 1（0～39点）、2（40～59点）、3（60～79点）、 4（80～90点）、5（91～100点） ・学科については出席日数が3分の2以上、実習については出席日数が5分の4以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が60点以上であるものを合格とする。 <p>《履修認定の基準》</p> <p>すべての科目が60点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。</p> <p>欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。</p> <p>点数が60点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>《卒業認定の基準》</p> <p>すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき理事会で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>60点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容店、エステサロン、まつげエクステンションサロン等、美容関係に就職			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の美容店（サロン）等の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きに行くか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡をとり、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。 ・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を 			

踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許 山野流着付師認定証(初伝・中伝・奥伝) 色彩技能パーソナル検定(モジュール1) A・T・F色彩検定3級 全日本ブライダル協会ブライダルビューティープランナー認定証 JNAジェルネイル初級検定 まっげエクステABEアシスタントディレクター
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	5 人	10%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「美容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
衛生		衛生専門	美容修得者科			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1 年	昼間	1020 単位時間	330 単位時間	単位時間 /単位	690 単位時間	単位時間 /単位
			1020 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人		2 人	0 人	3 人	25 人	28 人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4月に公表している。

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>《学習の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で100点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は5段階評価を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 1（0～39点）、2（40～59点）、3（60～79点）、 4（80～90点）、5（91～100点） ・学科については出席日数が3分の2以上、実習については出席日数が5分の4以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が60点以上であるものを合格とする。 <p>《履修認定の基準》</p> <p>すべての科目が60点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。</p> <p>欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。</p> <p>点数が60点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>《卒業認定の基準》</p> <p>すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき理事会で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>60点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容師・美容師両方の資格を取得しているため美容店に就職			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の理容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きに行くか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施 			

する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡をとり、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。 ・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 理容師免許
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「理容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門	理容修得者科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
1年		1020 単位時間	330 単位時間	単位時間 /単位	690 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1020 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		8人	0人	4人	28人	32人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 《シラバスの作成過程》 各課目担当教師から授業の流れ・内容を提出してもらい、それをもとにシラバス検討会議にてカリキュラムを検討し授業計画表を作成する。 《公表時期》 4月に公表している。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>《学習の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに実施する学科（講義）及び実習につき科目ごとに試験を実施する。普段の学習態度等も考慮した上で100点満点として採点し厳格かつ適正に評価する。 ・通知表への評価は5段階評価を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 1（0～39点）、2（40～59点）、3（60～79点）、 4（80～90点）、5（91～100点） ・学科については出席日数が3分の2以上、実習については出席日数が5分の4以上であり、本校における学科試験、実技試験の評価点数が60点以上であるものを合格とする。 <p>《履修認定の基準》</p> <p>すべての科目が60点以上で全課程の修了に必要な授業時間数を履修していること。</p> <p>欠席時間がある場合は、その科目ごとに補習を受講すること。</p> <p>点数が60点に満たない者は、追試験を受け合格点をとらなければならない。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>《卒業認定の基準》</p> <p>すべての科目の履修認定がされており、学費が完納されている者につき理事会で審議・決定し、学校長が卒業認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>60点に満たない者には追試験を行う。欠席等で履修時間が不足する者については授業時間外に補習時間を設け、その科目ごとに補習することによって不足時間数を補う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・三者懇談、個人懇談により本人の希望を調査、把握。 ・生徒が求人情報を直接入手できるよう、県内外の理容店（サロン）の人事担当者によるサロン説明会を本校にて開催。説明会前にどんな内容を確認するか、どんなサロンに説明を聞きに行くか例を挙げて指導する。 ・地元サロンに就職を希望する生徒には、複数のサロン見学を教師が引率して実施する。 ・生徒の希望するサロンのオーナーや人事担当者と学校が直接連絡をとり、サロン見学、就職面接を設定し就職先を決定する。 ・具体的に希望するサロンがない生徒に対しては、生徒一人ひとりの個性や適性を 			

踏まえてサロンを推薦する。 ・就職希望先が決定したら、面接指導、履歴書の書き方のアドバイス、記入内容の添削を実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 「美容師免許の取得」という当初の目標を見失わないようカリキュラム等を工夫したり、目標に対し迷いがある生徒、欠席が多いなど途中でリタイアしてしまいそうな生徒等は担任が面談を行い話を聞いたりアドバイスや指導を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
理容	200,000円	609,600円	210,000円	
美容	200,000円	609,600円	210,000円	
美容修得者	150,000円	609,600円	73,000円	
理容取得者	150,000円	609,600円	73,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

<ul style="list-style-type: none"> ● 評価項目は教育理念・目標、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、生徒募集、財務、法令の遵守、社会貢献とし、自己評価を実施する時期は、原則として毎年度11月とする。 ● 学校長が委嘱した当該学校教職員でない関連業界関係者・卒業生・保護者・教育に関する有識者等（3名以上）で構成される学校評価委員会を設置する。 ● 評価委員会では、学校が実施した自己評価をもとに、教育活動、運営全般に対しての意見・助言を話し合い、改善、向上を図る。 ● 評価結果を活用し、新年度には目標をもとに改善・実行、年度末までに評価・点検を行い新たな目標を設定する。 ● 評価の活用は学校長が責任者となり実行する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容室オーナー	2020.4.1～2022.3.31	関連業界関係者
理容室オーナー	2020.4.1～2022.3.31	関連業界関係者
伊勢市議会議員	2020.4.1～2022.3.31	教育に関する有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校事務室に備え付け、閲覧希望者には随時公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.ise-riyoubiyou.jp/
--